

一般質問

改革ネット仙台

岡部恒司議員

問 本市の優れた偉人である林子平先生の業績を広く内外に紹介するために、様々な形でより一層の具体的な取り組みを進めるべきと考えますが、**答** 先人の功績を後世に伝えることは我々の責務であり、本市のPRにもつながる。吉野作造先生に関する大崎市の試み等を参考に、その業績を伝える様々な取り組みを早速、具体的に検討する。その他の主な質問項目

問 災害時における食料等の備蓄・供給体制及び食物アレルギー対策について



林子平の肖像画(仙台市博物館所蔵)

高橋次男議員

問 七夕パレードの「星の宵まつり」や、花火祭り等は年々人出が増加している。歩道で事故のないよう、安全確保の在り方について伺う。**答** 車道部分を活用した観覧スペースの確保や警察と協力した歩行者の誘導等、今後とも主催者と協力した安全確保に万全を期してまいりたい。その他の主な質問項目

問 土井栄一氏の墓参り関連公文書館の必要性

問 若林城遺跡の利活用

問 猪・狼の被害とその対策

常任委員会 審議の概要

平成18年9月19日開催 (健康福祉委員会は28日も開催)

総務財政委員会

付託された議案番号(第114・115・119・123号)

付託議案審査
付託された三議案のうち、第百十九号議案は賛成多数で、第百二十四号議案、百二十三号議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。**問** 高齢者の大幅な負担増を招いている税の各種控除の廃止や縮減をやるよう、国に対し強く求めるべき。**答** 国会の場等で十分議論された上で決定だが、市税の窓口に様々な苦情等が寄せられている実態を国に伝える。**問** 税制改正等で影響が出ている人に対し、個々の状況に応じての減免規定適用が難しいければ、一定の減免基準を



仙台市のパンフレット「平成18年度版 わたしたちの市税」

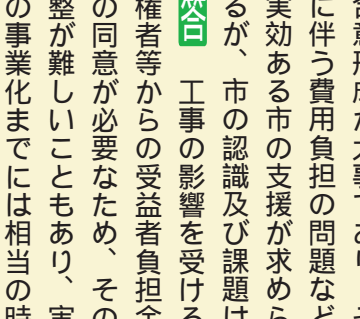
作り一律に適用してはどうか。**答** 一定基準による一律の減免を独自に行うことは、国全体の所得課税のあり方との関係等から多くの疑問があり、行方すべきではないと考える。財政局からの報告

問 大都市財政の実態に即応する財源の拡充についての要望の提出について

健康福祉委員会

付託された議案番号(第114・116・118・120・132・135号)

付託議案審査
付託された八議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。**問** 障害程度区分の判定や支給決定の膨大な作業量をこなすための人員等の体制について伺う。**答** 九月末までに、これまでのサービス利用者の判定を終えればその後の作業量は減少すると考える。実施できる体制を組み、一丸となって取り組む。**問** 小規模作業所等の地域生活支援事業への移行という課題にどう対応するのかが伺う。**答** 地域活動支援センター

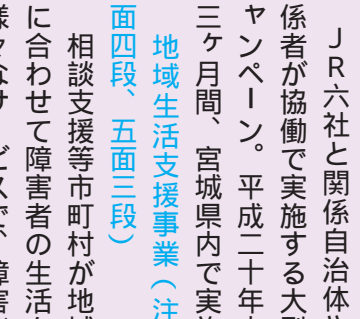


福祉まつり「ウェルフェア2006」

都市整備建設委員会

付託された議案番号(第114・115・121・122・126・128・議案6号)

付託議案審査
付託された七議案のうち、第百十四号議案ほか五議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決し、議第六号は賛成少数で否決すべきものと決した。**問** 造成宅地の防災対策工事を進めるうえでは、住民の合意形成が大事であり、それに伴う費用負担の問題など、実効ある市の支援が求められるが、市の認識及び課題は。**答** 工事の影響を受ける地権者等からの受益者負担金等の同意が必要であり、その調整が難しいこともあり、実際の事業化までには相当の時間



広瀬川浄化センター屋上広場イメージ図

市民教育委員会

付託された議案番号(第114・115号)

付託議案審査
付託された二議案のうち、第百十四号は全会一致で、第百二十四号は賛成多数でそれぞれ可決すべきものと決した。**問** 茂庭荘は十七年度は前年度より利用者も増加しており、存続を求めるがいかがか。**答** 厳しい経営状況等から行政が直接運営する必要性が薄れたと判断し、民間への事業継承を図ることとした。**問** 今後の民間への事業継承はどう進めるのか。**答** 民間業者から事業提案を募集し、年明け頃までには適切な業者を決定したい。付託議案審査

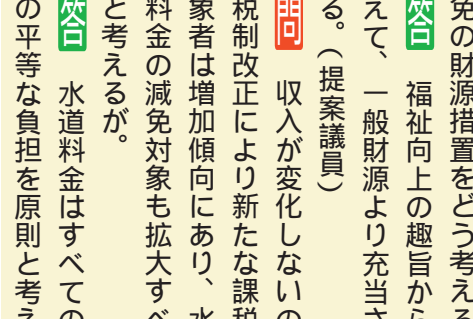


茂庭荘とともに施設の活用が求められる憩景閣

経済環境委員会

付託された議案番号(第114・125・127号)

付託議案審査
付託された三議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。**問** デスティネーションキャンペーンの実行委員選定は、Rが中心の準備委員会を立ち上げ、実行委員会等の構成について検討を進め、候補となる団体に説明を進めている。**答** 税金を使って行うデスティネーションキャンペーンの経済効果をより高めていくための方法について伺う。**答** 県、JR、商工会議所等と連携した受け入れ体制の整備や新たな観光資源の開発



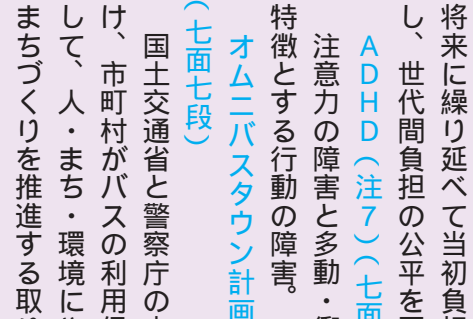
タイと締結した観光に関する協力協定の調印式(平成18年8月31日)

公営企業委員会

付託された議案番号(第117号議案7号)

付託議案審査
付託された二議案のうち、第百十七号議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決し、議第七号は賛成少数で否決すべきものと決した。**問** 議第七号に関して、減免の財源措置をどう考えるか。**答** 福祉向上の趣旨から考えて、一般財源より充当される。(提案議員)

問 収入が変化しないのに、税制改正により新たな課税対象者は増加傾向にあり、水道料金の減免対象も拡大すべきと考えるか。**答** 水道料金はすべての人



ガス展の様子

渡辺博議員

問 行政事務の整合性・一貫性確保のための事務引き継ぎに、問題があると考えられているが、引き継ぎ文書の作成や上司への報告を徹底し、前任者の継続した共通認識が図られるよう取り組む。**答** 児童生徒を守り育てていく環境の整備充実が、更に求めらるべきと考えが。問 青少年健全育成活動の充実、活性化に努めることにも、学力等でも本市の公教育は満足できる状況ではないと認識しており、学校等現場の声をよく聞きながら進める。

佐藤嘉郎議員

問 JR南仙台駅東口広場への、市営バスの乗り入れについて伺う。**答** 今年度末の次期ダイヤ改正で四郎丸線の乗り入れを計画している。具体的な経路や運行本数等については、利用状況等を分析しながら、鋭意検討を進めている。その他の主な質問項目

問 市長の市政運営の基本的な考え方

問 農業生産者と市民との交流障害者福祉行政について(障害者サービス利用者に必要なサービス)



新設される路上駐輪場(イメージ)

フौरラム仙台

安孫子雅浩議員
小学校では英語教育の導入より国語教育の充実こそ肝要と考えるが、所見を伺う。**答** 議員と同様の問題意識を持っており、子供達にとって思考やコミュニケーション、様々な学業の基礎である日本語をしっかりと学ぶことが一番大切と考える。中央教育審議会の教育課程部会での議論の推移をまずは見守りたい。その他の主な質問項目

問 小中学校の適正規模の検討と統廃合案

問 地域包括支援センターへの

公明党

鈴木広康議員
市民サービス向上の取り組みとして、総合窓口によるワンストップサービスへの改善を考えてはどうか伺う。**答** これまでも区役所等での繁忙期に窓口案内等を行う職員を配置してきた。総合窓口の改修や電算システム変更等の課題があるが、先進都市の事例も参考に検討する。その他の主な質問項目

問 小学校での英語活動障害者自立支援法の市単独負担軽減措置

問 本市の保育行政

問 山口津世子議員「子どもたちのための社会」

日本共産党

ふるくぼ和子議員
教育予算の削減ははやるべき。灯油高騰の折、学校でストップ使用の制限が起きないよう求める。**答** 教育環境の確保には、十分意を用いてきた。ご指摘の点は、今後とも教育局で実態把握の上、適切に配慮する。その他の主な質問項目

問 公立高校の学区撤廃は、仙台の子ども達が地域から追いつかれ、教育の機会均等に反する。県教委に説明責任を果たすよう要請すべき

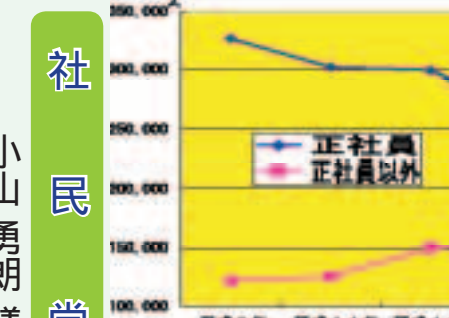
問 市立小中学校の統廃合ありきの議論はやめるべき

問 福島かずえ議員 雇用の質を高めるため、市は誘致企業の雇用形態や労働条件の実態調査を行うべき。

問 補助期間の雇用状況に



マタニティマーク



石川建治議員

問 市民が気軽に健康づくりにできるよう、身近な公園に運動器具を積極的に設置するよう求める。**答** 高齢化社会の中で、ご提案の内容は有意義なものと考えており、今後とも地域や

問 高橋次男議員 介護保険制度について

問 高橋次男議員 介護保険制度について

問 高橋次男議員 介護保険制度について

小山勇朗議員

問 水道事業の経営効率化優先は、水の安全、安心の軽視になると思うがどうか。**答** 安全な水を安定して供給するとい最も重要な使命を最優先に事業運営していく。**問** 歴史的町名復活検討事業は、市民や企業に負担を強いるもので、大きな負担となるこの事業は、止めるべき。**答** 問題提起をさせて頂いた。時間も費用も手間もかかるが、幅広く市民の意見を伺い、時間をかけて進めたい。その他の主な質問項目

問 介護保険制度について

問 市民が気軽に健康づくりにできるよう、身近な公園に運動器具を積極的に設置するよう求める。

問 高橋次男議員 介護保険制度について

問 高橋次男議員 介護保険制度について

問 高橋次男議員 介護保険制度について

屋代光一議員

問 支倉常長の足跡があるイタリアのジェノバ市と友好都市づくりを進めてはどうか。**答** 文化・芸術等様々な分野で、市民レベルの交流が進むプロセスを経る中で、両市の交流が進む展開を希望する。その他の主な質問項目

問 二〇〇二年W杯イタリア代表チーム足型の完成を仙台カップ国際ユースサッカー大会へイタリア代表チーム参加を働きかけるべき

問 市役所ギャラリーホールの休日解放を劇団四季の専用劇場を



鶴ヶ谷四丁目東公園(宮城野区)に設置されている健康づくり運動器具

用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。

実質公債費比率(注1) (二面三線)

今年度から導入された地方自治体の財政状況を示す指標。十八%を超えるると地方債の発行に国の許可を要し、二十五%を超えると制限される。

通常債(注2) (二面五線)
市債のうち、臨時財政対策債後年度に返済のための財源が国に手当てされるもの(等を除く借入金、デスティネーションキャンペーン(注3)(二面三線、五面三線))

JR六社と関係自治体や地元関係者が協働で実施する大型観光キャンペーン
平成二十年十月から三ヶ月間、宮城県内で実施予定。

地域生活支援事業(注4) (二面四線、五面三線)
相談支援等市町村が地域の実情に合わせて障害者の生活を支える様々なサービスで、障害者自立支援法に基づき十八年十月から実施認定(注5)も(注6) (四面四線) 幼稚園、保育所等のうち、就学前の子供に関する教育・保育及び地域における子育て支援の機能を備えた施設。知事が認定し、地域の実情に応じて四つの類型がある。

資本費平準化債(注6) (七面一段)
下水道事業債のうち、供用開始前及び開始当初の施設に係る元利償還金を対象に、利息等の負担を将来に繰り延べて当初負担を軽減し、世代間負担の公平を図る起債。

ADHD(注7) (七面三線)
注意力の障害と多動・衝動性を特徴とする行動の障害。

オムニバスタウン計画(注8) (七面七線)
国土交通省と警察庁の支援を受け、市町村がバスの利用促進を通して、人・まち・環境にやさしいまちづくりを推進する取り組み。